



令和8年5月27日

報道機関各位

国立大学法人 岩手大学

教育学部金沢教授が第33回鹿島美術財団優秀賞を受賞 —岩手大学で発見された野島康三旧蔵資料の研究成果—

概要

本学教育学部美術教育科の金沢文緒教授が、美術研究分野において特に優れた論文に贈られる「第33回鹿島美術財団優秀賞（日本・東洋美術部門）」を受賞しました。

今回受賞対象となったのは、2025年11月刊行の『鹿島美術研究』に掲載された論文「ロダンのデッサン複製展覧会（兜屋画堂、1919-1920年）再考—野島康三旧蔵資料（岩手大学所蔵）の検討を通じて—」です。

本論文は、本学で発見された野島康三旧蔵の複製写真資料を手がかりに、これまで詳細が不明であった「ロダンのデッサン複製展覧会」（兜屋画堂、1919-1920年）の実態を解明し、大正期の日本におけるロダンを含む西洋美術の受容過程の一端を明らかにしたものです。

鹿島美術財団では、全国の若手・中堅の美術研究者を主な対象として、美術に関する調査研究助成を行っています。財団賞・優秀賞は毎年、同財団の助成による研究成果の中から、特に優れた業績に対して授与されるものであり、美術研究分野において国内でも数少ない顕彰制度として高い関心を集めています。

授賞式および受賞講演は、2026年5月14日に東京都内で開催され、全国の美術史研究者・関係者に向けてハイブリッド形式で実施されました。

研究内容

本研究は、2020年に本学で発見された、日本近代を代表する写真家の一人である野島康三が収集した大正期の西洋美術の複製写真資料を対象とするもので、鹿島美術財団2023年度「美術に関する調査研究助成」（金沢文緒「大正期における西洋美術の複製写真の流通と活用についての研究—野島康三の活動との関連において」）に基づき実施されました。（本学で発見された資料については、2025年9月26日に報道関係者向けプレスリリースを行っておりますので、あわせてご参照ください。）



金沢教授は、野島康三が神田神保町で経営した画廊「兜屋画堂」（1919年5月～1920年6月）で開催された「ロダンのデッサン複製展覧会」に関わる新出資料（図1）を発見しました。彫刻作品《考える人》（図2）で知られるフランスの彫刻家オーギュスト・ロダンによるデッサン複製を展示したこの展覧会については、これまで詳細が不明とされてきました。しかし、発見された資料をもとに調査を進めた結果、その全容が明らかとなり、このたび論文として発表するに至りました。

論文では、本展覧会における展示内容を明らかにしたほか、ロダンの熱狂的ブームが巻き起こっていた大正期の日本において、本展覧会がどのような位置づけにあったのかについて考察しました。また、このブームを牽引した文芸雑誌『白樺』関係者が、本展覧会の開催にも関与していたことを新たに示しました。さらに、大正期において、西洋文化受容の過程で複製写真がどのように流通・活用されていたのか、その多様な受容のあり方についても一端を明らかにしました。今後も研究を進めてまいります。

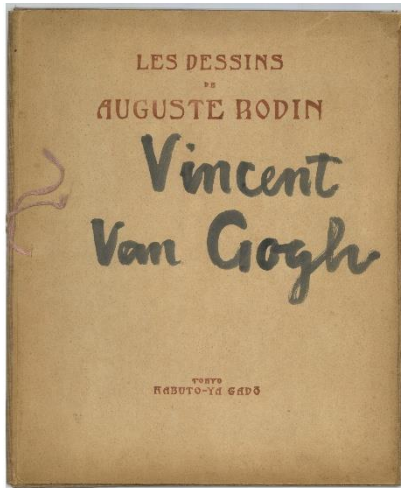


図1 『オーギュスト・ロダンのデッサン』紙挟 表紙・内側
（兜屋画堂開催「ロダンのデッサン複製展覧会」刊行物）1919年



図2 オーギュスト・ロダン《考える人》陸前高田市立博物館
（名古屋市立博物館から貸出中）



今後の予定

本学所蔵資料の一部は、2025年11月1日から2026年1月18日まで、埼玉県立近代美術館にて開催された企画展「野島康三と斎藤与里一美を掴む手、美を興す眼」において初公開されましたが、このたびの反響を受け、2027年3月20日より5月30日まで、陸前高田市立博物館にて、企画展「岩手大学所蔵作品・資料展 野島康三と大正期の複製写真（仮）」を開催予定です。

陸前高田市立博物館では現在、名古屋市立博物館より貸し出されたロダンの《考える人》（図2）が展示されています。大正期の日本におけるロダン受容を扱う本研究との関連から、同館での開催の運びとなりました。

本展覧会では、今回発見された西洋美術の複製写真資料のほか、野島康三の蔵書や本学所蔵作品も紹介予定です。日程・内容等の詳細については、追ってお知らせいたします。

展覧会情報

岩手大学アートフォーラム・陸前高田市立博物館共催

企画展「岩手大学所蔵作品・資料展 野島康三と大正期の複製写真（仮）」

陸前高田市立博物館、2027年3月20日（土）～5月30日（日）

陸前高田市立博物館ホームページ：

<https://www.city.rikuzentakata.iwate.jp/soshiki/kyouikusoumuka/hakubutsukan/index.html>

研究助成

金沢文緒「大正期における西洋美術の複製写真の流通と活用についての研究—野島康三の活動との関連において」

鹿島美術財団 2023年度「美術に関する調査研究助成」2024年4月～2025年3月

研究成果

①金沢文緒「岩手大学所蔵の野島康三収集資料—資料概要と特定調査の経緯」『岩手大学教育学部研究年報』第84巻、2025年3月、1-15頁。

（岩手大学リポジトリ：<https://iwate-u.repo.nii.ac.jp/records/2000575>）

②金沢文緒「岩手大学所蔵の野島康三旧蔵資料とロダンのデッサン複製展覧会」『野島康三と斎藤与里一美を掴む手、美を興す眼』、展覧会図録、埼玉県立近代美術館、2025年11月、170-173頁。

③金沢文緒「ロダンのデッサン複製展覧会（兜屋画堂、1919-20年）再考—野島康三旧蔵資料（岩手大学所蔵）の検討を通じて—」『鹿島美術研究』年報第42号別冊、2025年11月、104-115頁。

（デジタル書籍：https://grant-kajima-fa.jp/ebook/contents/book_r042/index.html#page=1）



関連情報

【新聞掲載】

- ・『岩手日報』2025年10月7日朝刊
- ・『毎日新聞』2025年10月9日朝刊（東北版）
- ・『朝日新聞』2025年10月24日朝刊（岩手版）
- ・『朝日新聞』2025年11月5日朝刊（埼玉版）
- ・『朝日新聞』2025年11月27日朝刊（岩手版）

【ウェブ掲載】

- ・『毎日新聞デジタル』10月7日付
「西洋美術の複製写真約200点、岩手大で発見 ゴッホ作品など撮影」
<https://mainichi.jp/articles/20251006/k00/00m/040/123000c>
- ・『朝日新聞デジタル』10月23日付
「写真家・野島康三の収集物、岩手大で発見 画廊印から入手経路追跡」
https://www.asahi.com/articles/ASTBQ1GYHTBQUJUB004M.html?iref=pc_culture_top
- ・『朝日新聞デジタル』11月27日付
「岩大生が光を当てた近代写真家の資料、埼玉県立近代美術館で展示」
<https://www.asahi.com/articles/ASTCV3DR2TCVUJUB00DM.html>

【鹿島建設プレスリリース】

- ・「第33回鹿島美術財団 財団賞・優秀賞を決定」
<https://www.kajima.co.jp/news/press/202605/15m1-j.htm>

【埼玉県立美術館企画展公式サイト】

- ・「野島康三と斎藤与里一美を掴む手、美を興す眼」
https://pref.spec.ed.jp/momas/2025nojima_yori

【本件に関するお問い合わせ】

岩手大学 アートフォーラム

金沢文緒（岩手大学教育学部美術教育科）

fmknzw@iwate-u.ac.jp

https://www.facebook.com/iwate.univ.art.forum/?locale=ja_JP

